

Linux 版 起動 CD

「パーティション」操作ガイド

このガイドでは Linux 版の起動 CD での「パーティション」操作例として「D ドライブを縮小し、C ドライブを拡大」をご案内いたします。

パーティション操作は時間がかかります。時間がある時に実施して下さい。ノート PC では途中で電源が切れない様、AC アダプターを接続して実施して下さい。



■パーティション操作前の準備

- 必ず操作対象のパーティションのチェックディスクと
チェックディスク結果の確認
- 大切なデータのバックアップ
を必ず行ってください。



■パーティション配置と種類の確認

CD 起動の場合、配置表示のドライブ文字は一時的に CD の OS(Linux)にて割り当てられます。その為 Windows と一致しない事があります。

パーティション操作前に Windows 上でパーティション「配置」「各サイズ」「種類」を確認し、拡大したい C ドライブの位置、D ドライブの種類が「基本」か「論理」なのか等、ご確認ください。

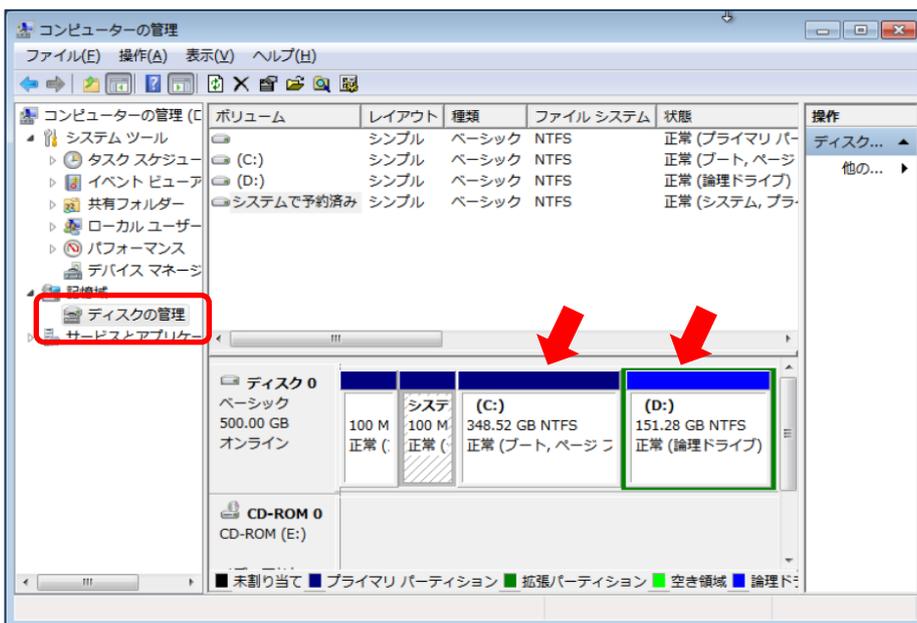
▼「ディスクの管理」画面での確認



「スタート」-「コンピュータ」の上で右クリックして「管理」を指定します。(Windows XP の場合は「マイコンピュータ」)。「コンピュータの管理」画面が表示されたら、左側の「ディスクの管理」をクリックします。

Windows8 の場合は「Windows」キーと、「X」キーを同時に押し左下から表示されたメニューから、「ディスク管理」をクリックします。

該当するハードディスクのパーティション配置、サイズ、種類をメモなどしておきましょう

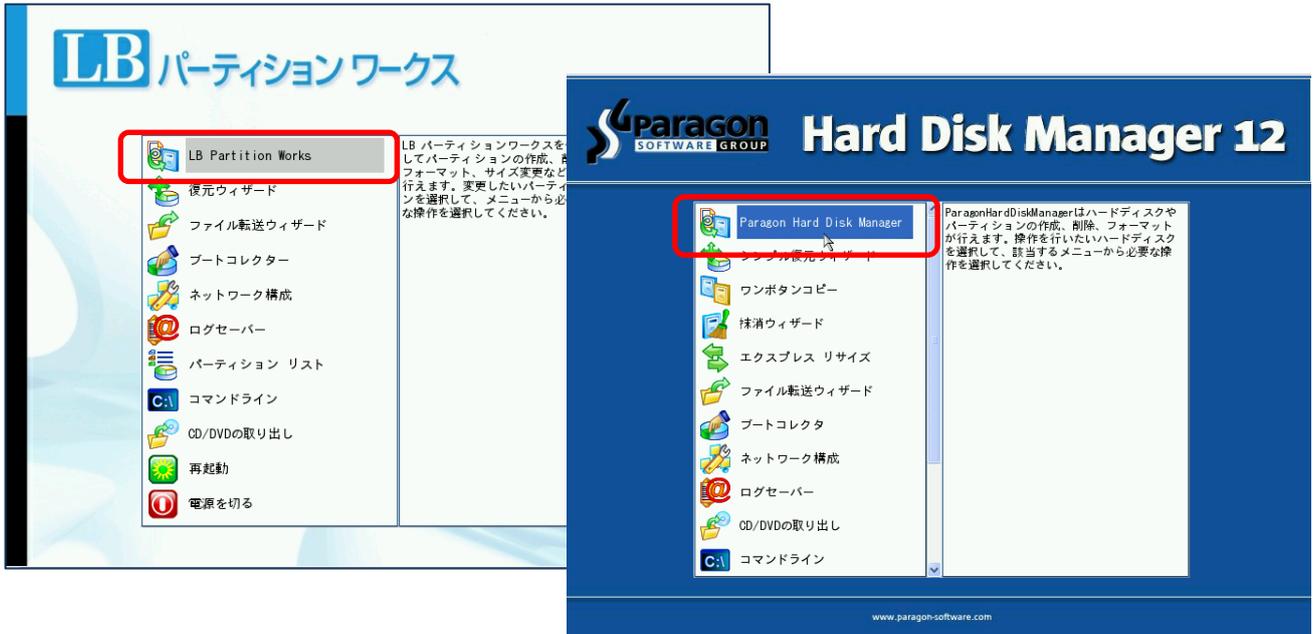


C ドライブは「基本」(濃い青色のバー)です。

DドライブはCドライブと同じ色なら「基本」です。図のように緑色の枠「拡張」パーティションの中の薄い青色枠は「論理」パーティションです。

サイズと配置を把握して下さい。

CD 起動してメイン画面を表示します。ソフトによって画面ロゴやメニュー名などが異なります。



メイン画面から「製品名」を指定して「操作画面」に進みます。

Dドライブを縮めてCドライブ拡大

CD 起動上の配置



操作画面が起動します。接続されているハードディスク、パーティションが確認できます。

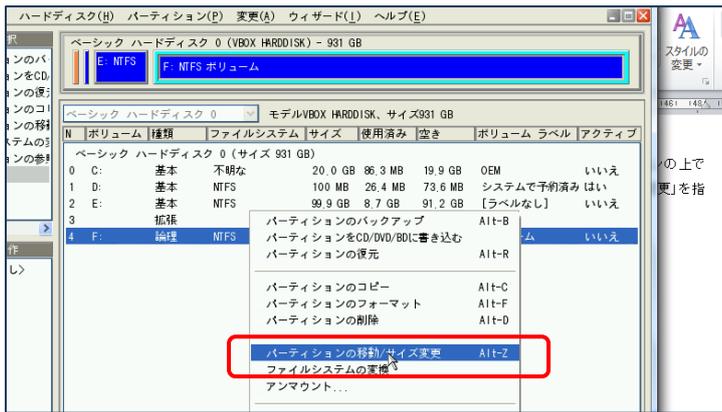
Windows 上の配置(参考)



Windows 上の「Cドライブ」はここではEドライブ、「Dドライブ」はFドライブになっています。ドライブ文字でなく、配置とサイズで対象パーティションをご指定下さい。

なお Cドライブや Dドライブ以外に「システム」パーティション、パソコンメーカーの隠しパーティションが前や後ろに存在する事もあります。このパーティションは触りません。

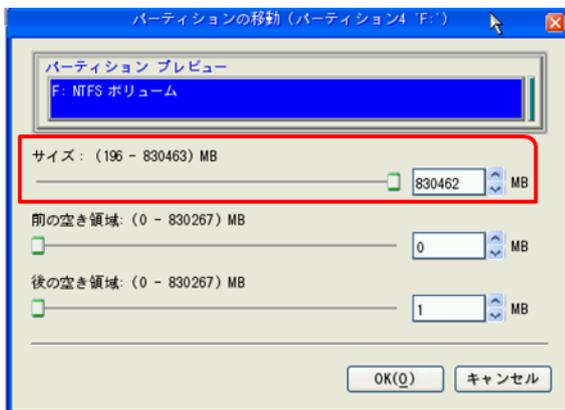
① Dドライブの縮小



Windows上でDドライブに当たるパーティションの上で右クリックして「パーティションの移動/サイズ変更」を指定します。

▼ サイズの変更

「サイズ」のスライダーでDドライブを縮めます。右に出来た「空き」がCドライブを増やす容量となります。



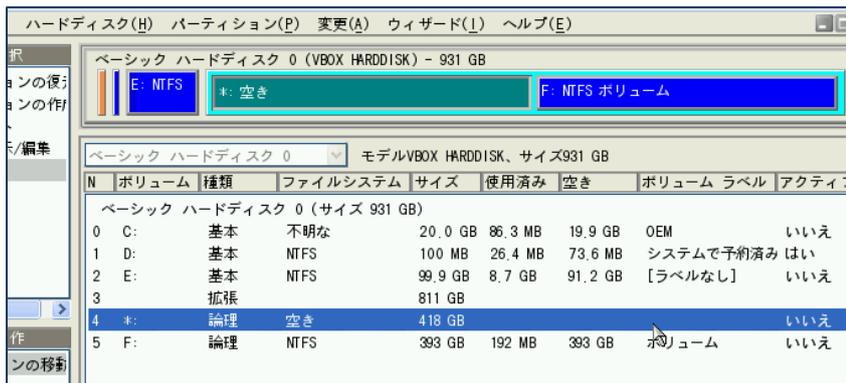
▼ 位置の変更

「前の空き領域」のスライダーを「後の空き領域」が「0」になるまで、右にずらします。「空き」が左端に位置します。「OK」します。

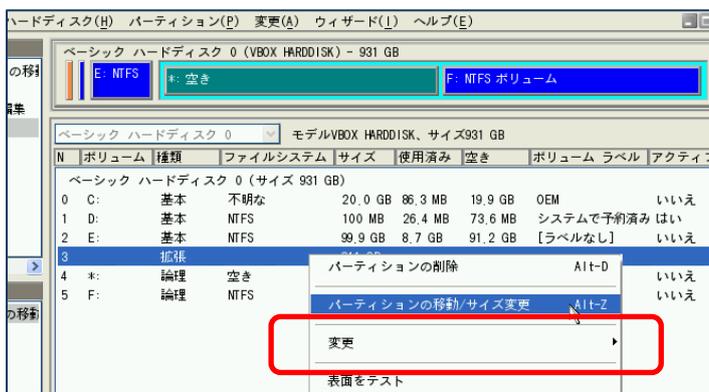


Dドライブが「論理」の場合は次の②「拡張の縮小」へ進みます。
「基本」の場合は③「Cドライブの拡大」へ進みます。

② 「拡張」の縮小



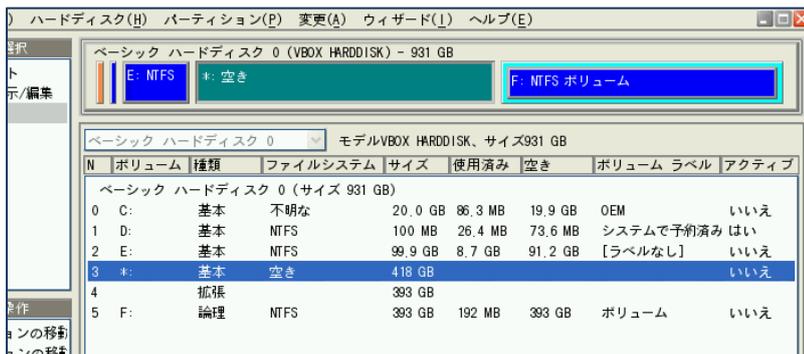
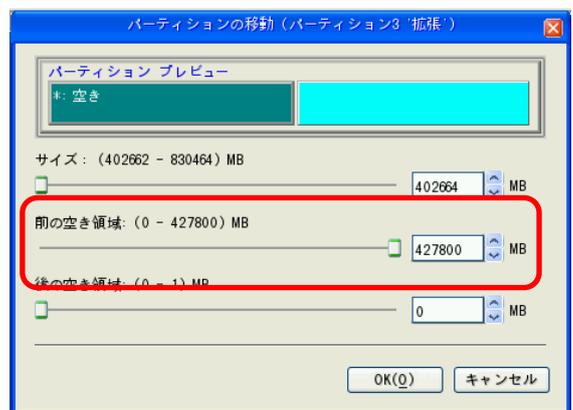
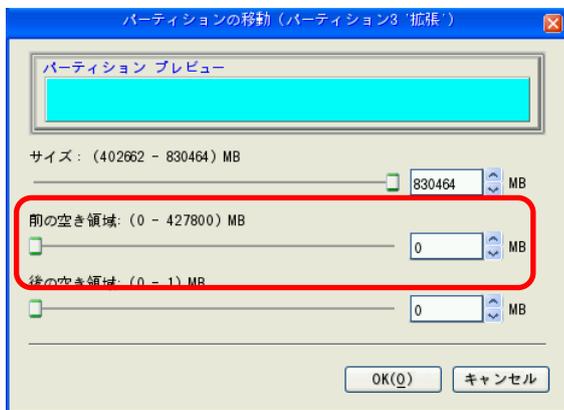
パーティションの配置が、
「基本」
「拡張」
「空き」(論理)
「縮めたパーティション」(論理)
の配置となります。



「拡張」の下に「空き」がありますので、「拡張」から「空き」を出します。

「拡張」パーティションの上で右クリックして「パーティションの移動/サイズ変更」をクリックします。

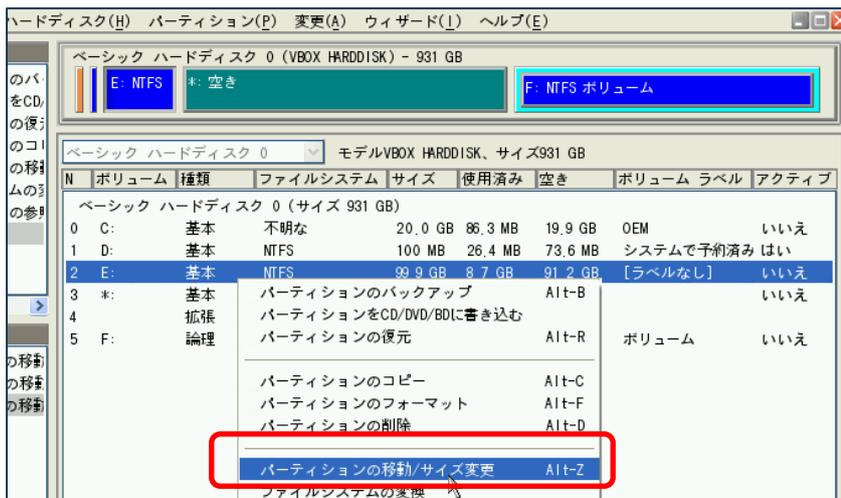
「前の空き領域」のスライダーを右端までずらします。「OK」します。



「基本」
「空き」(基本)
「拡張」
「縮めたパーティション」(論理)

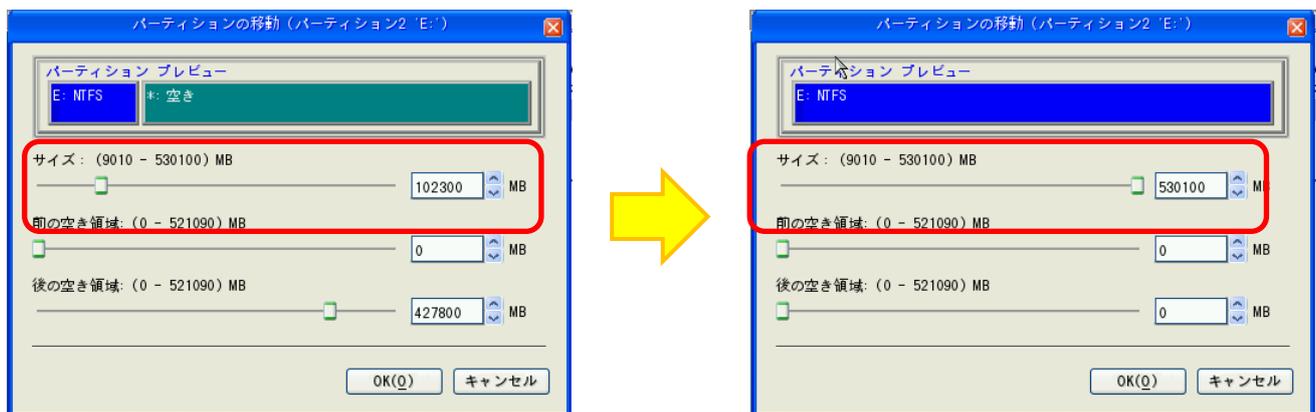
の配置となり、「空き」が「拡張」の外に出ました。

③ Cドライブの拡大

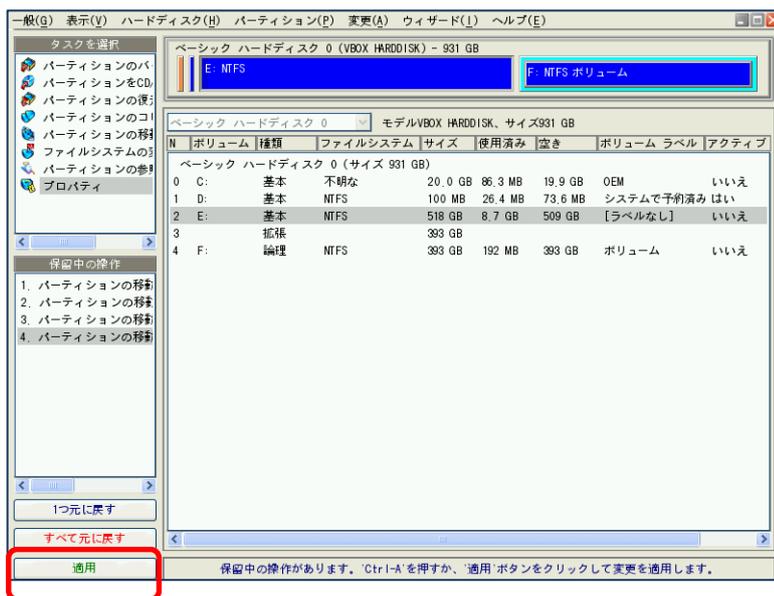


拡大したいパーティションの右隣に「空き」が隣接したら、拡大するパーティションの上で右クリックして「パーティションの移動/サイズ変更」をクリックします。

「サイズ」のスライダーを最大サイズにスライドします。

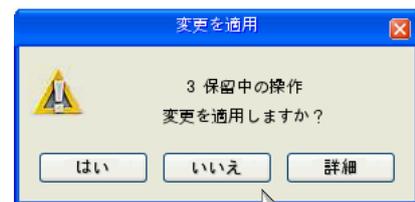


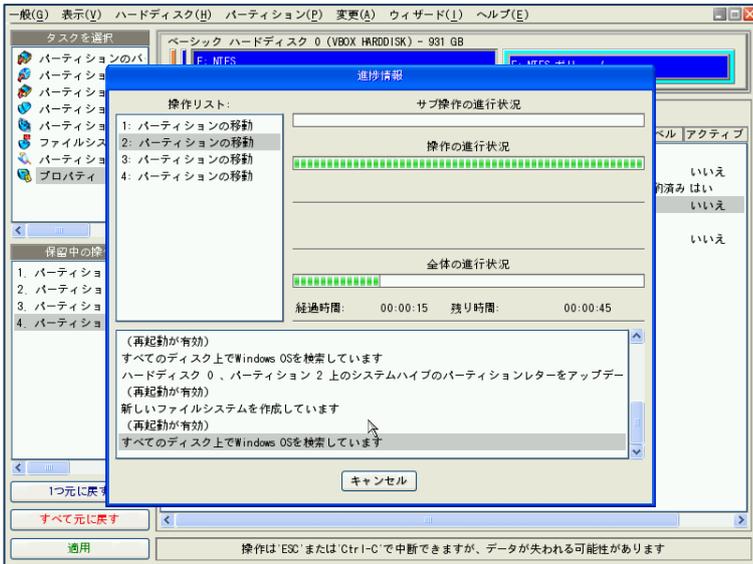
「前の空き領域」と「後の空き領域」は共に「0」MB となります。「OK」を押します。



Cドライブが大きくなった配置となりましたら、左下の「適用」を押します。

確認画面が出たら「はい」を指定して実行します。





パーティション操作はデータが入っているパーティションは時間がかかります。

途中でキャンセルや、電源は切らないで下さい。

「すべての操作が終了しました」となりましたら「閉じる」を押します。

画面右上の「×」または、「一般」から「終了」を選びます。

メイン画面に戻ったら、CD を抜いて「再起動」を指定します。OS 起動時にチェックディスクが実施されて、起動します